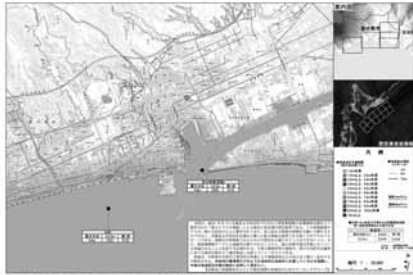


### 津波浸水予測図を閲覧するには

津波浸水予測図（原図）は、市危機管理室執務室前（市役所2階）または、北海道のホームページ（危機対策課 <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/index.htm>）でご覧いただけます。



### 市民の生命を最優先に



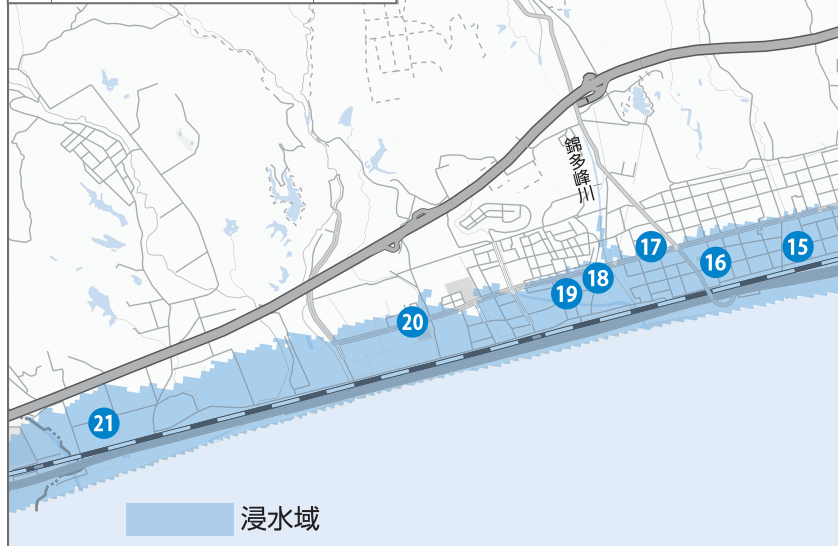
ほし みちひろ  
市民生活部長 星 道博

東日本大震災を受けて北海道が公表した津波浸水予測図は、浸水深・浸水域ともに、これまでの想定を大きく超えるものでした。

私自身、震災直後の5月に被災地を訪ね、日常生活が津波によって破壊された生々しい痕跡、そしてそこに供えられた花を目にして、何よりも守るべきは生命であるという想いを改めて強く持ちました。市民の生命を第一に考えると、これからは「想定外」という言葉は許されません。いつ来るかわからない最大級の津波に対し、苫小牧の実情に合った避難計画の策定や情報の発信を行ってまいりますので、市民、地域、企業の皆様のご協力をお願いいたします。

9月1日は防災の日です。これを機会に、津波に限らない全ての災害に対して、一人ひとりがどのような心構えをし、どのように身を守るかを考えていただきたいと思います。

施設名	浸水深(m)	施設名	浸水深(m)
1 勇払公民館	3.7	12 大成小学校	1.2
2 勇払小学校	4.3	13 光洋中学校	1.3
3 勇払中学校	4.0	14 糸井小学校	0.7
4 沼ノ端小学校	0.6	15 泉野小学校	1.0
5 沼ノ端中学校	0.4	16 ときわスケートセンター	1.3
6 市役所本庁舎	0.3	17 のぞみ出張所	0.3
7 東小学校	0.7	18 凌雲中学校	1.5
8 東中学校	0.9	19 錦岡小学校	1.9
9 教育・福祉センター	1.9	20 苫小牧駒澤大学	2.0
10 西小学校	1.1	21 樽前交流センター	1.4
11 弥生中学校	0.9		



### 地区別津波避難計画の策定

津波浸水予測図による想定をもとに、津波からの避難が必要となる地域（町内会）について、地域の皆さんとともに、避難場所や避難経路について協議を重ねながら、地区別の避難計画の策定に取り組みます。

今年度から着手し、図上訓練・避難訓練を行いながら、より大きな浸水が予測される地域から順次策定していきます。

### 津波避難指定施設の拡充

市では大津波警報が発令された場合、または津波襲来時に施設の一部を一時避難施設として使用できる津波避難施設（ビル）の協定を、(株)I・T・E

Cソリューシヨンス（表町1丁目 本社ビル）、(株)ホテルニュー王子（表町4丁目 グランドホテルニュー王子）、トヨタ自動車北海道(株)（字勇払145番地 第一工場）の協力のもと締結しています。

今後においても、一時避難が可能な施設との協議を進め、協力を依頼するとともに、指定施設の拡充を進めていきます。

東日本大震災という惨禍によって高まった防災意識を風化させないため、今回紹介した5つの「知る」をもとに、家庭や職場、地域で防災について意識し、考え、取り組んでみましょう。